



人・農地プラン中心経営体の 農地を耕作されている皆様

「地域計画」を考えてみませんか？



大木町農業委員会・産業振興課

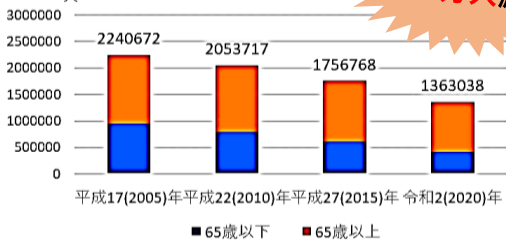
日本の農業の問題点



農業をする人が減っています

基幹的農業従事者数

15年で
約90万人減少



資料：農林水産省「農林業センサス」

・経営している農地が
飛んでいます

・荒れた農地が
増えそうです



皆さんの地域でも同じような悩みはありませんか？

地域計画とは？

将来

地域農業の将来について

- 地域が一体となって取り組んでいくこと
- ・地域野菜のブランド化を目指そう！
- ・農業用機械を使って省力化を目指そう！
- ・有機農業を推進しよう！ など

+

目標地図(農地利用の将来の設計図)

- およそ10年後について
- ・誰がどの農地を利用するか
- ・農地の貸し借りや交換
- ・新たな担い手の募集

これらを地域における話し合いによって決めていくものです。



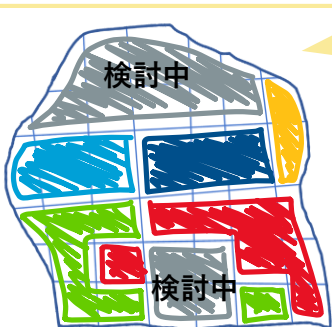
目標地図の完成まで

現況地図

目標地図 ※いったん完成



耕作者を色分けで表示



検討中

検討中

少しずつ
完成度を
高めて

+10



検討中

最終的な理想形

最初からきれいな地
図を作る必要はあり
ません。

皆さんで話し合いを重
ねていきましょう。

地域計画を作り上げるまでの流れ（イメージ）



市町村

協議の場の開催
に向けて調整

・参加者の決定



農業委員会

今の耕作状況や、農家さんや地権者
さんの意向をもとに協議の場で使う
地図の作成

（**現況地図、目標地図の素案**など）

※作成した地図を協議の場に持ち込む

地域の皆さん

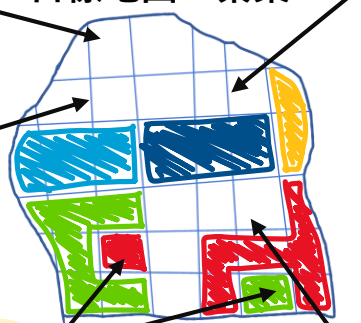
協議の場の開催

ここら辺は近くで借りたい
人が見つからないから、
外から担い手を探すエリ
アにしようか？

ここの農地誰が使
う予定だったけ？

地域の皆さんが集ま
り、今後どのように
農地を利用していく
か地図を使って話し
合いをします。

目標地図の素案



このままだと誰
も耕作する人が
いない...

ここの農地交換
してみようか

ここの農地も
借りたい

完成した目標地図



市町村

地域の話合いに基づき**地域計画**を策定

策定した後も、相続を除いた耕作者の変更や、
区域の変更等があると適宜計画の変更が必要に
なります。

農地バンク

完成した目標地図とお
りの農地の利用ができ
るよう手助け



**協議の場に参加し、地域農業の未来について話し合
うことがとても重要です。**

「地域計画」についての話し合いに参加願います。

問い合わせ：大木町農業委員会 0944-32-0904
産業振興課 0944-32-1063